

養護老人ホームを活用した地域づくりの支援

<p>取り組みの概要</p>	<p>平成 19 年 11 月から平成 20 年 2 月まで、養護老人ホームを活用し、施設と地域との交流を図りながら、入居者と近隣の特定高齢者への介護予防運動教室を実施した。その結果、参加者の筋力アップは勿論のこと、通所型介護予防事業への参加希望の手が挙がったり、施設職員の介護予防に関する意識の向上が見られた。また、入居者及び施設と地域の交流が図られるようになってきた。</p>
<p>課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 法改正により、養護老人ホームは外部の介護サービスを受け入れることとなったが、介護予防に関する理解は十分ではなかった。 2 地域で暮らす特定高齢者については、その把握方法は十分とは言えず、また、把握できても介護予防教室の会場が区に 1 箇所の状況では、距離や時間的な問題もあり教室への参加まで繋げていくことも難しい状況であった。さらに、教室に参加し筋力や運動機能がアップしても教室終了後の地域での受け皿がない状況では、高齢者が一人でその効果を継続・維持していくことは困難であった。
<p>取り組み内容</p>	<p>介護予防運動教室の実施内容 (対象者) 介護認定のない養護老人ホーム入居者 16 名、 近隣に住む特定高齢者 6 名 計 22 名 (内訳 65～69 才: 2 名、70～74 才: 2 名、75～79 才: 6 名、 80～84 才: 4 名、85 才以上: 8 名) 地域の方との合同体力測定会 《会場: 市民センター》 運動指導士による筋力アップ教室 8 回 (1.5 時間 / 回) 《会場: 養護老人ホーム集会室》</p>
<p>連携した団体</p>	<p>養護老人ホーム・市民センター・市内スポーツクラブ ・障害福祉センター・統括支援センター</p>
<p>実施にあたり 苦勞した点</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 教室実施の 1 年ほど前から準備し、居宅支援事業所と情報収集・意見交換する中で、養護老人ホームでの生活の状況や介護予防の状況等について把握していった。 2 入居者と近隣高齢者、施設と地域との交流ができるように配慮しながら、教室のプログラムを検討し、教室の運営を実施した。 3 終了後も入居者の運動が継続できるように、施設指導員とも情報を共有していった。
<p>今後の課題</p>	<p>今後とも、地域での交流や連携の強化を図り、介護予防事業をはじめとする地域づくりの支援を取り組んでいきたいと考えている。</p>